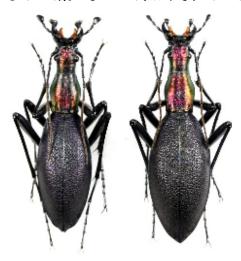
エゾマイマイカブリ

澄川森林の避難小屋のサポートに入りました。 作業をしていた足元に比較的大きな虫が這い出 してきました。マイマイカブリでした。携帯してい たデジカメでゲットした映像をご覧ください。画像 には 2015 年 6 月 6 日 13 時 37 分と記録されま した。手袋をつけていたので捉えましたが、素手 では捉まえてはいけません。オサムシ科の虫た ちは保身術として毒液を噴射する能力を持って います。九州での子供の頃もヘッピリ虫と呼んで 警戒したものです。和名の頭にエゾがついていて、



北海道特産と勘違いしますが、分布は主な離島を含む日本全土に及びます。飛行する翅が退化 していて飛べないのですが、それでいて離島にも分布しているのですから飛んでいた祖先たちが



分布をひろげたものでしょう。台湾ではカタツムリ駆除 のために日本から人間が持込んだものが定着している とのことなので、人間が持込んだ例もあるのかも。

マイマイカブリのマイマイとはカタツムリのことで、カタツムリを主食としていることでの命名です。幼虫から成虫にいたるまで、カタツムリをたべるとのこと。ホタルが水性のカタツムリのカワニナに依存しているのに似ていますね。マイマイカブリは顎がしっかりしていますが、カタツムリを齧るのではなく、消化液をだして溶かして食べるとのこと。カタツムリは主に森林に生息しますので、棲息環境はカタツムリのそれに重なります。主には

夜行性なのですが、今回のように昼間にも行動していることもあります。

この固体の胸回りに美しい金属光沢が見られます。オサムシたちは色変わりのバリエーションが

豊富で、しかも美しいので出会いが楽しみです。 北海道では密度が薄いのでなかなか出会いの 機会が少ないのが残念です。

避難小屋作りもいよいよ完成に近づいてきました。西野棟梁の意欲が反映されて本格建築と見まごうばかりで、積雪や強風にも絶えうる気配であります。澄川森林の環境が年々充実しています。嬉しいことであります。

